

阿賀野川流域における光と影の歴史や文化、現在の様々な取組を、「大河」「公害」「大地」の3つの観点からまとめ、阿賀野川流域のSDGsを探ります。今回は、阿賀野川の水の行方や過去の「水との闘い」を振り返り、清らかな水を守り生かす現在の取組を紹介する【大河編】です。

大河編
2023年制作

公害編
2024年制作
予定

大地編
2025年制作
予定

麒麟山の麓で合流する阿賀野川と常浪(とこなみ)川

新潟昭和炭の排水口(山口冬人氏撮影)

阿賀町の山地から平野へと流れ出る阿賀野川

阿賀野川
えとこだ
プロジェクト

阿賀野川流域地域

令和5年度パネル巡回展

水と大地のSDGsをさぐる

大河編

新潟県 (制作) 一般社団法人 あがのがわ環境学舎

清らかな水を守り活かす持続可能な豊かさとは？

※SDGs(エスディーゼーズ)は、「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称です。詳しくは裏面をご覧ください。

「阿賀野川流域におけるSDGsをさぐる」をテーマとしたパネル展を、下記の各施設で開催します。<観覧無料>

●パネル巡回展スケジュール

●開催期間 2024.1/6 ~ 2024.3/30

展示期間	展示施設	展示時間・備考
1/6(土)~1/15(月)	安田ショッピングセンター ウインディ	9:00 ~ 19:00
1/6(土)~1/15(月)	新潟市秋葉区文化会館	9:00 ~ 21:30 1/9(火)休館
1/17(水)~1/29(月)	新潟市北区文化会館	9:00 ~ 21:00 1/22(月)休館
1/19(金)~1/28(日)	阿賀野市立図書館	9:30 ~ 16:30 1/22(月)休館
2/1(木)~2/12(月・祝)	北方文化博物館 屋根裏ギャラリー	9:00 ~ 16:30 正門受付側から入場
2/1(木)~2/12(月・祝)	NEXT21 アトリウム	8:30 ~ 21:00
2/15(木)~2/27(火)	新潟市東区役所 南口エントランスホール	8:00 ~ 18:00
2/19(月)~3/7(木)	阿賀町役場鹿瀬支所ロビー	9:00 ~ 16:30 2/23(金)・土曜・日曜休館
2/29(木)~3/13(水)	江南区文化会館内 江南区郷土資料館	10:00 ~ 19:00 金曜休館 日曜10:00 ~ 17:00
3/9(土)~3/30(土)	道の駅「阿賀の里」	9:00 ~ 16:00
3/15(金)~3/24(日)	ラポルテ五泉 ガレリア	9:00 ~ 22:00

主催: 新潟県 共催: 新潟市・五泉市・阿賀野市・阿賀町

企画
お問合せ先

一般社団法人
あがのがわ
環境学舎

一般社団法人
あがのがわ環境学舎

阿賀野川流域におけるSDGsを3つのパネル作品を通してさぐる



大河編

2023年制作

阿賀野川流域地域

水と大地のSDGsをさぐる

清らかな水を守り活かす持続可能な豊かさとは？

- 阿賀野川の水の行方や過去の「水との闘い」を振り返り、清らかな水を守り生かす現在の取組を紹介します。

流域とSDGs / 水源の森と清流 / 豊かな川魚・漁 / 電源・ダム開発 / 洪水との闘い / 農業用水&排水 / 新潟水俣病の発生 / 大河を活かして



公害編

2024年制作
予定



大地編

2025年制作
予定

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



Sustainable Development Goals エスディー・ジーズ 持続可能な開発目標 (SDGs) とは？

持続可能でよりよい世界の実現を2030年までに目指す国際目標のことで、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択されました。

「安全な水…を世界中に」「質の高い教育をみんなに」など、左図に掲げられた17の目標(Goals)の達成により、「誰一人取り残さない」社会の実現に向け、すべての国々で取り組むべきとされています。

◀17のゴール(※18個目のアイコンは、SDGsを表すカラーホイール)

過去の作品(一部)のご紹介

展示を希望される方や団体には、無料で貸し出しております。
詳しくは右記までお問い合わせください。

お問合せ先



一般社団法人
あがのがわ環境学舎

〒959-2221 新潟県阿賀野市保田 3866 番地 | TEL&FAX 0250-68-5424



貴重な写真でたどる
昭和30~40年代の日本、高度経済成長の光と影
～躍進する日本経済の陰で、四大公害が投げかけた問い～



貴重な写真でたどる
阿賀野川の川業が盛んだったあの頃
～川業の隆盛と衰退、新潟水俣病の影、阿賀野川の現在～



貴重な写真でたどる
阿賀野川上流域を巡る近代産業の変遷
明治・大正・昭和～近代産業がたどった光と影の縮図



懐かしい写真で振り返る
阿賀野川・光と影の近代ものがたり
～イザベラ・バードから近代産業まで～



阿賀野川と銅山、ダム、そして高度成長の果てに
～大河と近代産業が織りなした光と影～



阿賀野川と大地が織りなす光と影【後編】
～大河と共に生きてきた半農半漁の地域～



阿賀野川と大地が織りなす光と影【前編】
～大河と共に生きてきた松浜・横越～



阿賀野川と共に生きたあの頃
～風土と歴史が織りなす光と影～



鹿瀬・昭和電工・阿賀野川
～光と影を織りなしてきた歴史～



草倉銅山の光と影
～鉱山に魅せられた人々～

阿賀野川 えとこた プロジェクト

正式名称「阿賀野川流域地域フィールドミュージアム事業」(略称「FM事業」)。阿賀野川流域の各地域が今も続く新潟水俣病と向き合い、それを乗り越えるような「人と人の絆」や「人と自然の関係」を紡ぎ直すため、流域の住民・行政・民間団体が手を取り合い、「新しい流域づくり」を目指して始まったプロジェクト。